

定
一於郷不撰侍・凡下、自然御国御用之砌、可被召仕者
撰出、其名を可記事、但式人
一此道具、弓・鎗・鉄炮三様之内何成共存分次第、但鎗ハ竹
柄にても、木柄にても二間より短ハ無用二候、然者号権門之被官、
不致陣役者、或商人、或細工人類、十五、七十を切而可記之事
一腰さし類之ひらく武者めくやう二可致支度事、
一能者を撰残し、夫同前之者申付候者、当郷小代官、何
時も聞出次第可切頸事、
一此走廻を心懸、相着者ハ、侍にても、凡下にても、随望可
有恩賞事、
已上
右、自然之時之御用也、八月晦日を限而、右之諸道具
可致支度、郷中之請負、其人交名以下をハ、来月
廿日二触口可指上、仍如件、
丁亥
七月晦日
(虎朱印)
中嶋 小代官
百姓中

定

一於郷不撰侍・凡下、自然御国御用之砌、可被召仕者
撰出、其名を可記事、但式人

一此道具、弓・鎗・鉄炮三様之内何成共存分次第、但鎗ハ竹

柄にても、木柄にても二間より短ハ無用二候、然者号権門之被官、

不致陣役者、或商人、或細工人類、十五、七十を切而可記之事

一腰さし類之ひらく武者めくやう二可致支度事、

一能者を撰残し、夫同前之者申付候者、当郷小代官、何

時も聞出次第可切頸事、

一此走廻を心懸、相着者ハ、侍にても、凡下にても、随望可

有恩賞事、

已上

右、自然之時之御用也、八月晦日を限而、右之諸道具

可致支度、郷中之請負、其人交名以下をハ、来月

廿日二触口可指上、仍如件、

丁亥

七月晦日

(虎朱印)

小代官

中嶋

百姓中